

田和山の森から

田和山遺跡の再整備計画について

埋蔵文化財調査課から田和山遺跡の再整備計画についての資料が提示されました。計画によりますと、本年度から令和9年度までの長期間にわたって行われます。但しいずれの期間も11月から翌年3月(9年度は11.12月の2か月で終了)までの計画であり、この間の駐車場所に困ります。森の作業に来られる方は大変ですが各自でお考えくださるようよろしくお願いいたします。(この期間に良い案があればお知らせします)

令和4(2022)年度【工事内容】①木橋改修5か所 ②樹木の伐採③災害復旧④AR1の設計+作成(山頂から見た古景観)

【立ち入り制限】R4.11/20~R5.3/10・園内全域(東西南側の全進入路)・多目的広場、駐車場
※山頂部へは閉鎖

令和5(2023)年度【工事内容】①木橋改修4ヶ所②竪穴建物撤去③樹木伐採④AR1実装(山頂から見た古景観)
⑤AR2作成+実装(VR映像展示)

【立ち入り制限】・史跡西側ブロック・多目的広場、駐車場 ※山頂部は常時開放

令和6(2024)年度【工事内容】①掘立柱建物改修②手すり③フットライト④AR3、4、5作成+実装⑤ベンチ⑥誘導板
⑦竪穴遺構表示⑧ライトアップ照明⑨カウンター設置

【立ち入り制限】・史跡西側ブロック・多目的広場、駐車場 ※山頂部は常時開放

令和7(2025)年度【工事内容】①遺構表示改修②手すり③木橋2カ所改修④樹木伐採⑤誘導看板

【立ち入り制限】 ※山頂部は常時開放

令和8(2026)年度【工事内容】①山頂部整備②フットライト③手すり

【立ち入り制限】・西側、南側園路・山頂部 ※山頂部は常時閉鎖

令和9(2027)年度【工事内容】①多目的広場整備②案内看板等

【立ち入り制限】11月~12月・多目的広場、駐車場・ガイダンス施設 ※山頂部は常時開放

月末の大雪襲来

先日は大変な寒波が山陰にもやって来て、大雪となりました。乃木の方でも25日には41cm(-3.8℃)も積もり、交通機関が完全にストップ、学校も殆どが休校になりました。田和山の森も倒木したり枝が折れたりして被害があちこちでました。今年には13日を仕事始めとしていましたが、雨のため集まった者も仕事ができず帰りました。21日は天候もよく、11人が参加して落ち葉集めをしましたが、月末の27日は大雪で仕事のできる状況ではありませんでした。2月はなんとか作業ができると思います。



落ち葉集め



新しい焼却炉

新しい焼却炉

森の枯木や落葉を処理していた焼却炉(ドラム缶加工)が傷んだため、新しい焼却炉を購入しました。煙だしが2か所もあり、これまで以上に効率の良い物と思います。

田和山の樹木 第37回 モチノキ

樹皮から鳥もちが出来ることで知られているのがモチノキです。(現在ではそんなことを知らない人が多いかも)鳥もちが有用であった頃には里山には欠かせない樹木、として大切にされていました。



葉がクチクラ層と呼ばれるワックス層に覆われていることから塩害に強く、寒気の強い内陸では育ちにくく、福島県~山形県以西の本州、四国、九州及び沖縄の山地や海辺の林内に自生しています。

葉は革質で表面には光沢があり、稚樹のうちは葉の縁に多少のギザギザがあるが、成木の葉は縁が丸くなっています。秋になると直径1センチ程度のくすんだ朱色の果実ができ、野鳥がこれを採食します。

鳥もちで鳥を捕獲することは、現在は法律で禁止されていますが、夏に剥いだ樹皮を2~3か月ほど水に漬けて腐らせ、臼等で砕いて作ることが出来ます。材は堅くて緻密であり、その白さを生かして彫刻、ソロバンの珠、印鑑などに使われています。モッコク、モクセイと共に「庭木の三大名木」とされ、庭木や高生け垣に使われています。(竹下記)

今後の活動予定

2月3日(金)13:30~、10日(金)13:30~、18日(土)9:00~、24日(金)13:30~、

3月3日(金)13:30~、10日(金)13:30~、18日(土)9:00~、24日(金)13:30~、31日(金)13:30~